

# 1 幼児教育・保育科の特色と履修方法について

## 1. 学科概要

子どもたちの健やかな成長をサポートするためには、保育者自身が伸びやかな感性や表現力を備えていることが大切です。また、子どもの気持ちによりそうことや、コミュニケーション能力も必要不可欠になります。

本学科では、保育・教育の知識や技術に加えて、音楽・美術・体育などの表現にかかわる教育を重視しています。また、少人数セミナーによるきめ細かな指導により、保育者としての基礎的な素養を育成します。さらに、多様化する保育ニーズについてもしっかり学べるカリキュラムを設定しています。

## 学びの特長

### ① 少人数制のセミナー教育

一人の人間として、社会人として、保育者として、修得すべき知識や技能を学習します。また少人数教育により、保育者として適した姿勢や態度を養います。

### ② 総合的な表現力の養成

「SOZOわいわくひろば」「青い空コンサート」「SOZO展」等の学校行事や、こども未来館こここでの「おにいさん、おねえさんとあそぼう」等の学校行事を通して、地域の子どもたちとふれあいながら、総合的な表現力を身に付けます。

### ③ 保育者としてのコミュニケーション能力の育成

保育者には、多様なコミュニケーション・スキルが求められます。授業の中だけではなく、様々な行事を通して、保育者としてのコミュニケーション能力を育成します。

### ④ 保育者として情報リテラシの育成

保育の中で取り扱う様々な情報の取扱や、情報発信に伴う様々な課題に対応します。加えて、情報機器を用いた保育教材の作成にも取り組みます

## 2. 免許・資格等について

本学幼児教育・保育科に在籍し、取得できる、もしくは取得をめざすことのできる免許・資格は次の通りです。

[取得できる資格]

### 幼稚園教諭2種免許状

本学において幼稚園教諭2種免許状を取得するために履修しなければならない最低単位数は、第1表の通りである。

第1表

所要資格 免許状の種類	基礎資格	本学における最低修得単位数
		教科及び教職に関する単位数
幼稚園教諭 2種免許状	大学に2年以上在学し64単 位以上を修得し、短期大学 士の称号を有すること	35単位

1. 上記の最低修得単位数のほか、憲法2単位、体育2単位(体育実技、体育講義各1単位)、英語2単位及び情報教育入門2単位を履修しなければならない。

2.教科及び教職に関する科目の履修については、第2表に掲げる科目全てを履修しなければならない。

第2表

免許状の種類	免許法施行規則第2条定める科目区分			左記に対応する本学授業科目		
	科目	各科目に含める必要事項	最低修得単位数	授業科目	単位数 必修 選択	
幼稚園教諭 2種免許状	領域及び 保育内容 の指導法 に関する 科目	・領域に関する専門的事項	12	幼児と健康Ⅰ 幼児と健康Ⅱ 幼児と環境 幼児と言葉 幼児と表現Ⅰ 幼児と表現Ⅱ	1 1 1 1 1 1	
		・保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		保育内容総論 保育内容・健康 保育内容・人間関係 保育内容・環境 保育内容・言葉 保育内容・表現	1 1 1 1 1 1	
幼稚園教諭 2種免許状	教育の基礎的 理解に 関する 科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)	6	教育原理	2	
		・教職の意義及び教員の役割職務内容(チーム学校運営への対応を含む)		保育者論	2	
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		子どもの心理学	2	
		・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育・保育Ⅰ	1	
		・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む)		カリキュラム論	2	
幼稚園教諭 2種免許状	道徳、総合的な学習等の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	保育方法論 教育工学演習Ⅰ (情報教育とコンピュータ)	2 2	
		・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		幼児理解と教育相談	2	
	教育実践に関する科目	教育実習	5	実習指導 教育実習	2 4	
		教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	

〔取得できる資格〕

**保育士資格**

保育士資格を取得するためには、下記のとおり履修しなければならない。

- 1 別表第1の教科目については全て履修する。(必修科目)
- 2 別表第2に掲げる教科目のうち、「保育実習Ⅱ」2単位・「保育実習指導Ⅱ」1単位は必修、その他の教科目から6単位以上を履修する。
- 3 基礎教養科目等については、基礎教養科目から6単位以上、外国語から2単位、「体育講義」および「体育実技」それぞれ1単位の合計10単位以上を履修する。

別表第1				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目
保育の 本質・目的 に関する 科目	保育原理	講義	2	保育原理
	教育原理	講義	2	教育原理
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉
	社会福祉	講義	2	社会福祉
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ
保育の 対象の理 解に関する 科目	保育者論	講義	2	保育者論
	保育の心理学	講義	2	子どもの心理学
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健Ⅰ
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養
保育の 内容・方 法の理 解に関 する科 目	保育の計画と評価	講義	2	カリキュラム論
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論
	保育内容演習	演習	5	保育内容・健康
				保育内容・人間関係
				保育内容・環境
				保育内容・言葉
				保育内容・表現
	保育内容の 理解と方法	演習	4	幼児と環境
				幼児と言葉
				幼児と表現Ⅰ
	乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 子どもの健康と安全 障害児保育 社会的養護Ⅱ 子育て支援	演習	2 1 1 2 1 1	幼児と表現Ⅱ
				乳児保育Ⅰ
				乳児保育Ⅱ
				子どもの健康と安全
				特別支援教育・保育Ⅰ
特別支援教育・保育Ⅱ				
社会的養護Ⅱ				
子育て支援				
保育 実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設)
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(施設)
総合 演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習 (幼稚園)

別表第2							
系 列		単位数	左に対応して開設されている教科目				
保育の 対象の理 解に関 する科 目	保育の内容・方法に関する科目	6 単 位 以 上	幼児理解と教育相談				
			障害児心理学				
			保育方法論				
			児童文化				
			児童文学				
			音楽Ⅲ				
			音楽Ⅳ				
			総合表現 教育工学演習Ⅱ (子どもとコンピュータ)				
			保育 実習	保育実習Ⅱ	実習	2	保育実習Ⅱ
				保育実習指導Ⅱ	演習	1	保育実習指導Ⅱ

[取得を目指す資格]

**ピアヘルパー(NPO 日本教育カウンセラー協会)**

カウンセリングや関連する心理学の理論方法について学習し、教育・福祉・保育などの実際場面で人とかかわるために必要な基本的な力を身につけた者であることが証明されます。資格は、NPO 日本教育カウンセラー協会の指定する選択4科目のうち3科目(6単位以上)を履修修得(※教育課程表参照)し、本学内で行なう「ピアヘルパー認定試験」に合格することで取得することができます。

※本学は、ピアヘルパー認定試験指定校です。

<http://www.jeca.gr.jp/>

◀ 関連科目 ▶

子どもの心理学、子どもの理解と援助、障害児心理学、幼児理解と教育相談

[取得できる資格]

**ネイチャーゲームリーダー(公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会)**

ネイチャーゲームとは、1979年に米国のナチュラリスト、ジョセフ・コーネル氏により発表された自然体験プログラムです。いろいろなゲームを通して、自然の不思議さや仕組みを学び、自然と自分が一体であることに気づくことを目的としています。自然に関する特別な知識がなくても、豊かな自然のもつさまざまな表情を楽しめるのがネイチャーゲームです。この指導員資格は、文部科学省管轄の公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会が認定する資格です。ネイチャーゲームで培った感性は、日常生活に自然とゆとりをもたらすばかりでなく、社会教育の場や学校教育の場で幅広く活用することができます。

※本学は、ネイチャーゲーム課程認定校です。

<http://www.naturegame.or.jp/>

◀ 関連科目 ▶

子どもと生活

**認定絵本土(国立青少年教育振興機構)**

この講座を受けることで、絵本に関する深い「知識」「技能」「感性」を身に付けることが出来ます。卒業後は絵本を中心に地域の子どもの読書活動を推進する役割を担うことが期待されます。

<https://www.niye.go.jp/services/plan/ehon/>

※本学は認定絵本土養成講座開設機関です

**准学校心理士(日本学校心理士会)**

保育所や幼稚園等で実務経験を積み、さらに研修に参加することによって、学校心理士の資格にグレードアップできます。学校心理士は、学校生活で問題を抱えている子どもやその保護者教師などにカウンセリングを行い、援助します。

<http://www.gakkoushinrishi.jp/>

### 3.実習について

#### 教育実習・保育実習について

幼稚園で行う実習を教育実習といい、保育所及び施設において行う実習を保育実習といいます。いずれの実習も、大学で学んでいる理論や知識・技能を保育の現場で実践し、確かめる重要な体験学習です。学生は、これらの実習の場を通して保育者としての自覚を高め、かつ、専門職として必要な知識・技能を実践的に学ぶことにより、保育技術の総合的応用力を身につけなければなりません。

幼稚園教諭2種免許状または保育士資格を取得しようとする者は、下記の実習を行い、所定の単位を取得しなければなりません。本学で実施している実習の概要及びスケジュールは下表のとおりです。

#### 実習概要

実習種別		単位数	必修・選択	実施学年	実習内容
幼稚園教諭 2種免許状	教育実習(幼稚園)	4	必修	1～2年	1年生－見学・観察・参加実習 2年生－観察・参加・指導実習
	保育実習Ⅰ (保育所・施設)	4	必修	1年生	保育所－見学・観察・参加実習
保育士資格	保育実習Ⅱ(保育所)	2	必修	2年生	施設－観察・参加・指導実習 観察・参加・指導実習

#### 実習スケジュール

実習 種別 月	1年生			2年生		
	教育実習	保育実習		教育実習	保育実習	
		保育所	施設		保育所	施設
4					ガイダンス	
5					事前訪問 保育実習Ⅱ	実習施設 希望調査
6						
7	実習園希望調査 (2年生)	実習園希望調査 (1・2年生)		ガイダンス 事前訪問		ガイダンス 事前訪問
8						施設実習
9				幼稚園実習		
10						
11		ガイダンス 事前訪問		「教員免許状」 申請ガイダンス	「保育士登録」 申請ガイダンス	
12	ガイダンス 事前訪問	保育所実習				
1						ガイダンス 事前訪問
2	幼稚園実習					
3			施設実習			

### (1) 教育実習(幼稚園)

幼稚園教諭2種免許状を取得しようとする者は、幼稚園における教育実習4単位を履修しなければなりません。教育実習は法律で定められた教員免許状取得のための学習の一要件ですが、大学において学んだ基礎的科目及び専門的科目の知識・技能を幼稚園という具体的な場において統合・応用するものであります。

同時に実地研究を通して可塑性豊かな幼児への教育的愛情と幼児教育への問題意識を拡大・深化させるものであることも肝に銘じなければなりません。

本年度の教育実習は、1年生は2024年1月29日(月)～2月9日(金)までの2週間、豊橋市を中心とする各幼稚園の協力を得て実施します。2年生は2023年9月25日(月)～10月6日(金)までの2週間、主として出身地の各幼稚園の協力を得て実施します。

なお、詳細説明については、1年生は「実習指導」の授業及びガイダンスで、2年生は関係授業科目やガイダンス及び掲示で行います。

### (2) 保育実習(保育所・施設)

保育士資格を取得しようとする者は、保育実習に含まれている1・2年生の保育所実習と2年生の施設実習の両方を必ず履修しなければなりません。保育所実習は1年生においては、見学・観察・参加実習を中心に、1・2年生(保育実習Ⅱ)では1年生の体験をもとに、観察、参加実習から指導実習へと順次関わりを強化していきます。その中で対象の子どもの理解及び保育指導技術の実際を習得し、保育士としての具体的な職務内容とその役割を体験的に理解しなければなりません。

本年度の保育所実習は1年生は2023年12月4日(月)～12月16日(土)までの2週間豊橋市内の各保育園の協力を得て実施します。2年生(保育実習Ⅱ)は2023年5月29日(月)～6月10日(土)までの2週間、主として出身地の各保育園の協力を得て実施します

また2年生の施設実習は2023年8月上旬～9月上旬までの夏期休暇中に、10日間程度の宿泊実習(施設によっては約2週間の通所実習)を実施します。学生は入所児童と起居を共にして、施設保育士の職務についての体験的理解と実践能力を体得しなければなりません。

以上、いずれの実習に際しても、関係授業科目及びガイダンスにおいて詳細説明を行います。

### (3) 留意事項

- ① 実習を受講しようとする学生は、将来幼稚園教諭または保育士を志す熱意のある学生でなければなりません。一応資格だけを取っておこうとするような安易な気持ちの学生は、実習を受けるべきではありません。最近の実習園における実習生受け入れ状況は厳しくなっており、一部の不心得な実習生は受け入れ園から実習を拒否される事態も生じています。改めて、実習を受けるべき心構えをしっかり持って実習にのぞむことが大切です。
- ② 実習の実施にあたっては、受講学生の各々について、関係授業科目の取得状況、諸講義への出席状況、履修態度、実習状況等を学科で審議します。その結果、実習不相当とされた学生は、実習を延期もしくは中止させられることがあります。
- ③ 実習に伴う事前の手続き、掲示、呼び出し、直接指導、検便の提出、事後のレポートや実習記録の提出等々、定められた事項の各々について各自責任と自覚をもって対処することが肝要です。
- ④ 実習中は健康維持(ベストコンディション)に留意し、欠勤遅刻のないようにすること。止むを得ず事故もしくは病気等で欠勤する場合は、実習園と大学(教務課)双方に届け出なければなりません。
- ⑤ 実習終了後、実習園(施設)から送られてくる実習評価表において不合格と評価された実習生は、原則として再履修は認められません。そのようなことのないよう、誠意をもって最善の実習をしていくことが必要になります。